



## 【速報】都道府県ランキング 大阪府議会がトップ 2位 兵庫県議会、3位 三重県議会 都議会は30位と低調

「議会改革度調査 2018」速報版 早稲田大学マニフェスト研究所調べ

地方から政治を変える取り組みを行う早稲田大学マニフェスト研究所は3月25日、4月の統一地方選挙を前に、全国の地方議会の改革度を調べた2018年度「議会改革度調査」の、都道府県別ランキングの速報値を公開しました。

調査結果から、議会改革の取り組み度を表す順位は、1位に大阪府議会、2位に兵庫県議会、3位に三重県議会となりました。分野別順位で1位を飾るのは、「情報公開」が大阪府議会、「住民参加」が鹿児島県議会、「機能強化」が兵庫県議会でした。大きく順位を上げたのは、前年度16位→今年度7位の広島県議会、43位→34位の沖縄県議会、そして41位→24位に躍進した山口県議会などです。また、「議会改革が一丁目一番地」と位置付けた東京都議会も前年度34位から30位へとランクアップしましたが、改革は道半ばと言わざるを得ません。



なお、政令市ランキングは3月26日に公開予定です。

≫47都道府県ランキングの各順位 → [http://www.maniken.jp/gikai/2018rank\\_todouhuken325.pdf](http://www.maniken.jp/gikai/2018rank_todouhuken325.pdf)

### ▼ 都道府県別ランキング速報値 (カッコ内は前年度順位と前年度比)

<トップ5>			<下位5議会>		
1位	大阪府議会	(1位 / 0)	43位	新潟県議会	(37位 / -6)
2位	兵庫県議会	(2位 / 0)	44位	岐阜県議会	(35位 / -9)
3位	三重県議会	(4位 / +1)	45位	青森県議会	(39位 / -6)
4位	鳥取県議会	(3位 / -1)	46位	岡山県議会	(44位 / -2)
5位	京都府議会	(5位 / 0)	47位	福岡県議会	(45位 / -2)

### ▼ 議会改革度調査について ≫ 詳細はこちら <http://www.maniken.jp/gikai/2018gaiyo.pdf>

**【調査概要】** 2019年2月上旬にメールや郵送で調査依頼を全地方議会に送付し、回答を収集している。今回は速報値で、全体のランキングは6月公表予定。2010年度から今回で9回目の調査となる。

**【調査の目的】** 以下の2つを目的として実施している。

- (1) 全国の議会改革がどのような状況・傾向にあるか確認する指標として活用すること
- (2) 議会自身が改革度を数値で把握することで自己評価や改善をし、善い政治を競う「善政競争」を促す

**【調査の観点】** 本調査では、議会が果たすべき役割として3つの柱をあげている。

- (1) 情報公開（本会議などの議事録や交際費・視察結果の公開具合と検証）、(2) 住民参加（傍聴のしやすさ、議会報告会などの実施、住民意見の聴取）、(3) 議会機能強化（議会本来の権限・能力を発揮するための機能強化状況）。それぞれの改革度合を数値化し、ランキングを出している。

◇ 今後、「議会改革度調査 2018」の新たな情報は下記の早大マニ研 HP で公開します。

<お問合せ先> 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局：担当 小椋、青木、中村  
TEL：03-6214-1315 E-MAIL：mani@maniken.jp HP：<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>